

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年08月09日

計画の名称	堺市における災害に強い快適な生活環境の整備（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	堺市													
計画の目標	災害時における避難場所を提供し、防災・減災に寄与する都市公園の整備を着実に進める。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		186	A	186	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R05		R06
1	整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備による避難可能人数の増加			
	整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備による避難可能人数 （目標年次における避難可能人数 - 計画策定年次における避難可能人数）	0人	人	3400人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	都市計画公園事業（天神公園）（5 か年防公）	施設整備	堺市	■	■				59	4.544	未策定	
	A12-002	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	都市計画公園事業（天神公園）	施設整備	堺市	■	■				127	4.544	未策定	
												小計						186		
											合計						186			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	25				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	25				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	25				
うち未契約繰越額(g)	25				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算が令和6年3月22日に交付決定し、未契約繰越で対応したため。				

(参考図面)

計画の名称	堺市における災害に強い快適な生活環境の整備（防災・安全）		
計画の期間	令和5年度 ～ 令和6年度（2年間）	交付対象	堺市



事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市における災害に強い快適な生活環境の整備（防災・安全）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画等：都市計画マスタープラン、地域防災計画、緑の基本計画等）		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施についての要望がある。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。		○